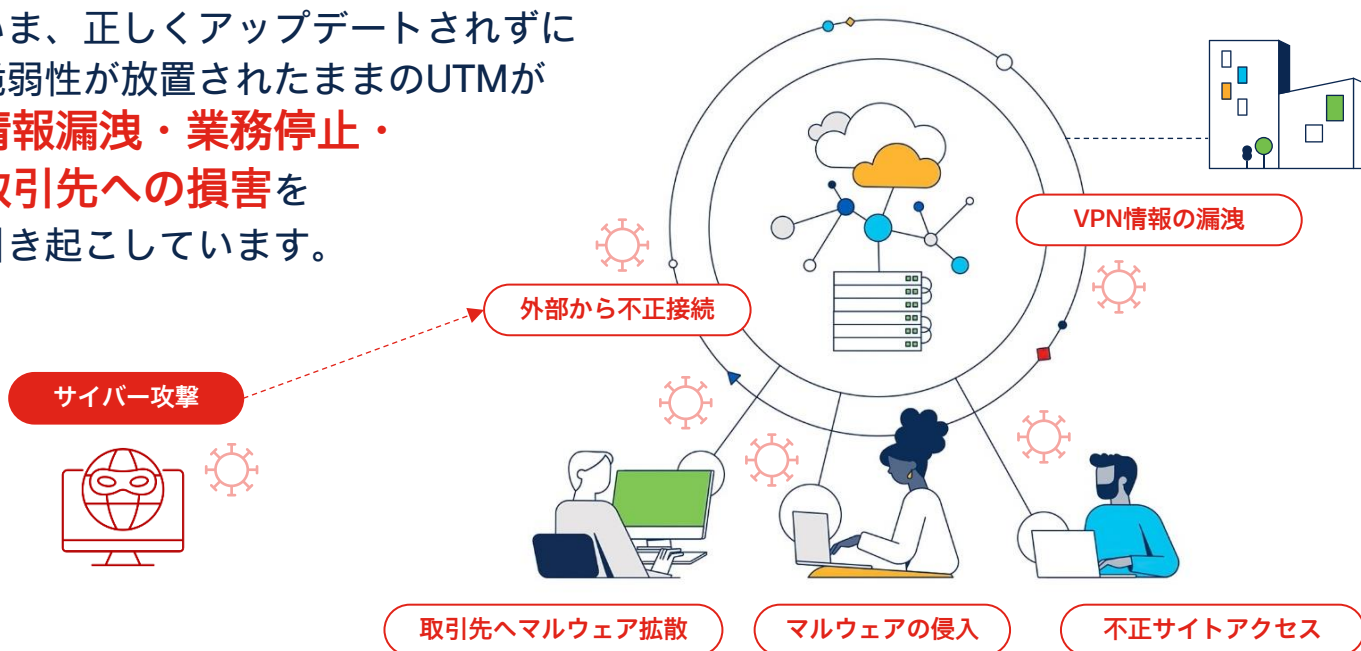


統合型SASE で “いま” 必要なセキュリティ対策を



いま、正しくアップデートされずに脆弱性が放置されたままのUTMが
情報漏洩・業務停止・取引先への損害を引き起こしています。



こうした脅威から組織を守るためには、「自動アップデート」「SASE（セキュアアクセス サービスエッジ）」の導入が有効な手段です。

CISCO Meraki + SASE

Meraki SASE なら、こう解決できます。

- Cisco Meraki が提供するネットワークセキュリティ
- クラウドサービスはもちろん、ハードウェアもクラウドから自動アップデート
- 単一ベンダーなので、管理ダッシュボードも問い合わせ先も一元化
- 世界最強のセキュリティリサーチ集団 Cisco Talos による最新対策を反映

Cisco Meraki SASE の2つの要素



快適な拠点間接続・インターネット接続

Cisco Meraki MX とは？

SD-WANルータ機能と、ファイアウォールやコンテンツフィルタリングなどのセキュリティ機能を兼ね備えた、クラウド管理型のネットワークセキュリティ機器です。設定や管理の簡素化、自動化が特長です。



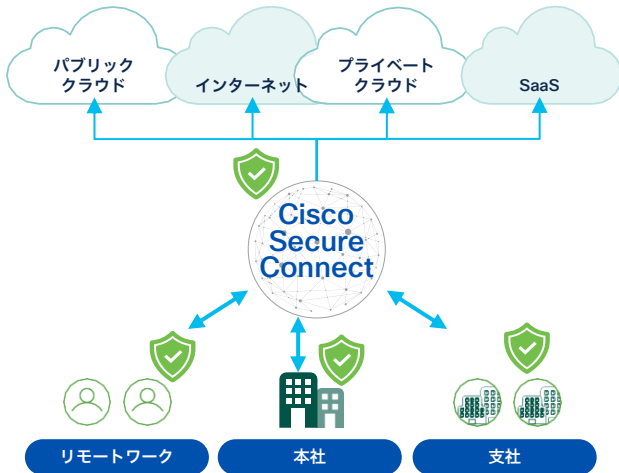
クラウドから高度なセキュリティ機能を提供

Cisco Secure Connect とは？

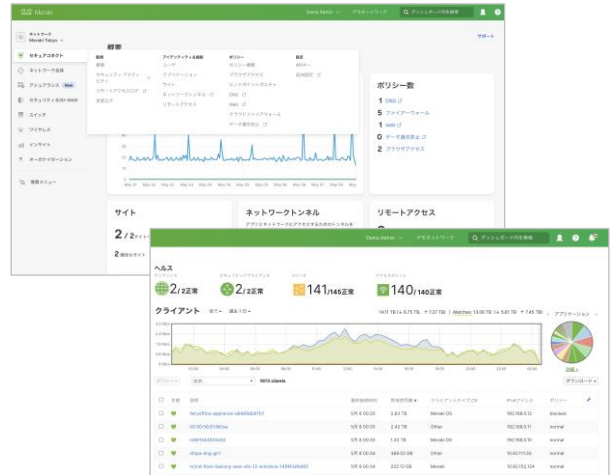
最新のネットワークセキュリティ機能を、単一のクラウド基盤から提供するセキュリティサービスです。Meraki MXと組み合わせることで 統合されたシンプルなSASEを実現し、クラウド利用の増加や働き方の多様化に対応できる、安全で快適なインターネットアクセス環境を提供します。

Ciscoの統合型SASEの特徴

あらゆる場所からどんな接続先へも
セキュアな接続を提供



単一のダッシュボードで
SD-WANもSSEも統合一括管理、
全てクラウドから集中一括管理



Ciscoの統合型SASE “Meraki x Secure Connect” で解決！

ファームウェアの自動更新

- ✓ SASEに関わるアップデートを自動で展開
- ✓ ハードウェア製品、クラウドサービス共に、自動で最新のファームウェアを利用

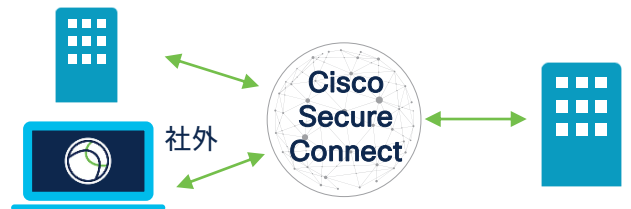
Cisco Meraki

Cisco Secure Connect



クラウドVPNで社内へアクセス

- ✓ どうしても残ってしまう社内ツールへの接続に、クラウドVPNを提供
- ✓ クラウドVPNにより、WAN帯域の逼迫を防止



世界最強セキュリティリサーチ集団 Cisco Talos による最新対策を反映

- ✓ 世界的なセキュリティ研究機関Cisco Talos のインテリジェンスを活用してソリューションを強化
- ✓ 500名を超えるセキュリティ分析官が世界最大規模のデータ解析を行い、高度なセキュリティを担保

CISCO
TALOS

クラウド時代に適したセキュリティ

- ✓ ドメイン、カテゴリーごとにインターネットの利用を制御しセキュリティを担保
- ✓ クラウドアプリ利用状況の可視化、情報漏洩防止など、インターネット利用に必要なセキュリティ機能を網羅



構成 サンプル (2拠点 300名 1年契約)

- 拠点数: 本社1拠点、支社1拠点
- 従業員数: 300名
(内訳) 完全オフィス勤務: 200名
オフィス勤務 兼 リモートワーク: 100名

[Meraki MX ハードウェア + Advanced Security ライセンス]

- 本社向け 1セット: MX85-HW + LIC-MX85-SEC-1Y
- 支社向け 1セット: MX75-HW + LIC-MX75-SEC-1Y

[Cisco Secure Connect ユーザライセンス (PL-SECON-SUB)]

- 社内業務のみ Foundation Essentials (PL-SECON-FN-ESS-K9) x200
- リモート含む Complete Essentials (PL-SECON-ESS-K9) x100

構成サンプルの概算費用: